

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和5年度報告)

市町名: 大竹市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
大竹市有害鳥獣捕獲 対策協議会	市全域		イノシシ						有害鳥獣捕獲活動の経費の 支援や捕獲活動に必要な備 品の整備により、効率的な捕 獲活動を推進する。	400千円	212千円	171%	54a	26a	256%	電気止め刺しは効果的に利用さ れており、今後も捕獲活動の効 率化ができています。 センサーカメラにより、被害鳥獣 の特定が可能となり、農家に対し 効果的な被害防止対策を指導で きるようになった。今後は集落で の勉強会を企画している。 イノシシの出没頭数及び捕獲頭 数は豚熱の感染拡大により大幅 に減少したが、依然として被害が あるので、継続して取り組む必要 がある。
			タヌキ							40千円	98千円	-18%	6a	6a	100%	
			ツキノワグマ							-	-	-	-	-	-	
			アナグマ							-	-	-	-	-	-	
			ハクビシン							-	82千円	-	-	5a	-	
			ヌートリア							-	-	-	-	-	-	
		令和 4年度	アライグマ	電気止め刺し	1セット	大竹市鳥 獣対策協 議会	R4.11	100%		-	-	-	-	-		
			ヒヨドリ	センサーカメラ	4台		R4.11	100%		-	522千円	-	-	9a	-	
			カラス	緊急捕獲	14頭					750千円	1571千円	-3%	10a	20a	0%	
			カワウ・ウミウ							1000千円	9400千円	-740%	-	-	-	

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。
注2)達成率の算出方法については「実績値(＝基準年値－実績値)／目標値(＝基準年値－目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

コメント：イノシシによる農作物被害は減少しているものの、豚熱による一時的な減少であることが予想されるため、大竹市鳥獣被害防止計画の方針にある農家や地域による自己防衛の意識啓発等を行い、集落に有害鳥獣を寄せ付けない環境整備を推進することが必要である。
(西部農林水産事務所 林務第一課 課長 白石勝也)